

<第二期 秋田いきいきワーク推進会議取組方針の目標一覧>

1 新しい働き方等に対応した働き方改革

項目	策定時	現状 ※1	目標	参考
長時間労働の抑制 【週60時間以上の雇用者の割合】	6.4% (2019年)	5.1% ※1 (2022年)	5%以下 (2025年)	※1 第5次男女共同参画基本計画 成果目標の動向（内閣府 男 女共同参画局）【全国値】
年次有給休暇の取得促進 【有給休暇取得率】	56.4% (2020年)	58.6% ※2 (2022年)	70%以上 (2025年)	※2 労働条件実態調査（秋田県）
テレワーク ※4 【テレワーク導入企業の割合】	40.5% (2022年度)	-	45.4% ※4 (2025年度)	
テレワーク ※4 【テレワーク制度等に基づく雇用型 テレワーカーの割合】	22.7% (2022年度)	6.5% ※3 (2022年)	25.0% ※4 (2025年度)	※3 就業構造基本調査（総務省）

※4 第5次男女共同参画基本計画（令和5年12月26日一部変更閣議決定）により変更された成果目標

2 多様な人材確保対策の総合的な推進

項目	策定時	現状	目標	参考
65歳以上人口に占める雇用保険被 保険者割合	7.1% (令和2年10月)	8.6% (令和5年10月)	11.0% (令和7年10月)	
高校生の県内就職率	75.4% (令和3年3卒)	77.1% (令和5年3卒)	74.0% (令和7年3卒)	「新秋田元気創造プラン」に おける目標 ・80.0%（2025年）
県内大学生等の県内就職率	46.7% (令和3年)	46.3% (令和5年)	60.0% (令和7年3卒)	「新秋田元気創造プラン」に おける目標 ・53.0%（2025年）
A ターン就職者数	1,120人 (令和2年度)	1,084人 (令和4年度)	1,300人 (令和6年度)	「新秋田元気創造プラン」に おける目標 ・1,400人（2025年）
就職氷河期世代の正規雇用者数の 増加数	-	2,937人 (令和5年1月)	3,000人 (令和5年度累計)	
障害者雇用状況報告における雇用 障害者数（民間企業）	2,622人 (令和2年6月1日)	2,825人 (令和5年6月1日)	3,385人 (令和7年6月1日)	
外国人労働者数	2,402人 (令和2年10月)	3,161人 (令和5年10月)	3,508人 (令和7年10月)	

※職業安定業務統計（秋田労働局職業安定部）

3 女性の活躍推進

項目	策定時	現状	目標	参考
女性の課長相当職の割合	19.4% (2020年)	21.2% (2022年)	30%程度 (2020年代早期)	「女性版骨太の方針2023」 における目標 【プライム市場上場企業】 ・女性役員1名以上選任 (2025年) ・女性役員比率30%以上 (2030年)
女性の部長相当職の割合	2.8% (2020年)	14.3% (2022年)		
男性育休取得率	10.7% (2020年)	17.9% (2022年)	30%以上 (2025年)	「子ども未来戦略方針」 (R5.6.13) の目標 ・2025年 50%

※労働条件等実態調査（秋田県）